

## 渋沢栄一について調べる



埼玉ゆかりの三偉人の一人、渋沢栄一。そんな彼が 2024 年度を目処に新一万円札の肖像になることが、2019 年に発表されました。一体彼はどんな人なのかご存知でしょうか。これをきっかけに渋沢栄一という人物について調べてみませんか？

【※◎の資料については館内閲覧のみの資料になります】



### \$ 辞書・事典で調べる

- 『渋沢栄一を知る事典』（東京堂出版・2012）289.1 シブ

栄一氏の生涯と数々の事績を網羅。一部では栄一氏を知る為の項目が 100 に細分化され、二部では彼の関連資料について解説されている。

- ◎『埼玉県人物・人材情報リスト 2017 1・2 巻』

（日外アソシエーツ・2016）R281.3 サ

現代を中心に、埼玉県関係者の知名人 4,983 人のプロフィール等を、活動分野ごと氏名五十音順で収録。栄一氏は 1 巻に掲載されている。

- ◎『教科書に載った日本史人物 1000 人』

（日外アソシエーツ・2018）R281 キ

高等学校の日本史の教科書に、記載された人物を知るための伝記文献を収録した文献目録。日本史上の人物 1233 人を対象に、国内で 1945～2018 年に刊行された伝記・評伝・自伝等を掲載している。

### \$ 渋沢栄一の軌跡をたどる

- 『埼玉の先人渋沢栄一』（さきたま出版会・1983）289.1 シ他

埼玉県人が描いた渋沢栄一の小伝。郷土埼玉と栄一氏、社会事業家としての栄一を併せてまとめられている。

○『渋沢栄一』(吉川弘文館・1989) 289.1 シ

栄一氏の誕生から実業界の引退をまとめた伝記。幼少・青年時代、実業界の指導者、社会・公共事業の栄一氏という大きく3部構成で出来ている。

◎『渋沢栄一を歩く』(小学館・2006) L285.0 シ 21

栄一氏に縁のある地を、著者が実際に歩き訪ねる旅の記録。関連する事柄の説明と共に、現代での事跡の場所を確認する。写真や地図もあり。

○『渋沢栄一 -社会企業家の先駆者-』(岩波書店・2011) 289.1 シブ

大きく5章に区切られ、栄一氏が行った明治維新後の近代的な産業の創出や人的ネットワーク、公共事業を通じた国作りなどが解説されている。

○『渋沢栄一 I・II』(文藝春秋・2011) 289.1 シブ

I 算盤編・II 論語編と二冊あり。Iでは、幕末から明治期日本の資本主義を起こすまでの栄一氏の活躍を、IIでは近代化における過程で生じた社会問題に対する栄一氏を、教育、民間外交などを通して解説する。

○『日本の資本主義を作った男 渋沢栄一』(宝島社・2019) 289.1 シブ

図や写真が豊富なムック本。カテゴリ別4章に区切られており、小題目が少数ページごとにまとめてある。

§ 渋沢栄一に関わる人たち

○『徳川慶喜公伝 全4巻』(平凡社・1967-1968) 289.1 ト

栄一氏が幕臣として仕えた慶喜公の伝記。自らが多額の費用を出し、序文も自ら執筆している。こちらは本編のみを復刻したもの。

○『尾高惇忠』(さきたま出版会・1984) L285.0 オ 21

栄一氏のいとこであり、学問の師であり、富岡製紙工場初代工場長を務めた惇忠氏の人柄や事柄を、栄一氏と絡めながら解説している。

○『大川平三郎君伝』(図書出版・1990) 289.1 オ

栄一氏の娘・照子と結婚して娘婿となった平三郎氏。坂戸市出身である彼が携わった事業での功績、故郷に対する奉仕活動など、製紙王と呼ばれた彼の生涯をたどっていく。

○『穂積歌子』（大空社・1995）289.1ホ

栄一氏の娘であり、長女として誕生した歌子氏の生涯を書いた伝記小説。

○『渋沢家三代』（文藝春秋・1998）288.3シ

栄一氏と息子の篤二、孫の敬三。この3人を軸に、家族やその周囲の人々との関係性をたどっていく。巻末に3人の略歴年譜あり。

§ 物語で渋沢栄一を読む

○『日々に新たなり』（国書刊行会／下山二郎・1988）シモ／289.1シブ

栄一氏が攘夷の志士と介して家を出奔する辺りから、栄一氏の葬儀後までを描く。

○『城山三郎伝記文学選3』（岩波書店／城山三郎・1999）シロ

栄一氏が従妹のちよと結婚した時から、ちよがコレラで没するまでを描く。小説名は『雄気堂々』。

○『小説渋沢栄一 上・下』（日本放送出版協会／津本陽・2004）ツモ

上巻『曖々なり』は栄一氏の生い立ちから実業の世界を志すまでを描き、下巻『虹を見ていた』は実業界での活躍、民間外交への貢献などを中心に、亡くなる所までを描く。

§ 渋沢英一の著作

○『雨夜譚』（岩波書店・1984）289.1シブ

・栄一氏本人による自伝。農家の少年から明治政府仕官に至るまで、34歳までの彼自身の生涯の話。こちらの資料には『維新以後における経済界の発達』も収録されている。

○『渋沢栄一訓言集』（国書刊行会・1986）304シ

栄一氏の行った講演や訓話を、雑誌や書籍にされたものなどから、精髓を抜粋、渋沢青淵記念財団竜門社の手によって新たに編纂された一冊。

○『論語と算盤』（大和出版・1992）670.4シ

栄一氏の代表作。『論語と算盤とは必ず合致すべきもの』という思想が、10章にまとめられている。

## \$ 渋沢栄一関連本

- 『渋沢栄一の経営教室』（日本経済新聞／香取俊介・2014）カト  
伝記型小説とは違うSF小説。タイムスリップして渋沢栄一の弟子となり、夢を掴んだ少年の物語。
- 『渋沢栄一に学ぶ「論語と算盤」の経営』（同友館・2016）335.1シ  
栄一氏が『論語と算盤』で述べた理念のもと、企業の社会的責任について、現在の経営を根本から見直す。関連年表、栄一氏の玄孫・渋沢健氏の寄稿も収録。
- 『渋沢栄一人生を創る言葉 50』（致知出版社・2017）159シ  
栄一氏の玄孫である著者が、栄一氏作の談話「青淵百話」から抜粋して、栄一氏の言葉から、著者が感じ取った意味や気づきなどを備えてまとめている。【◎『青淵百話 乾・坤』（同文館・1912）の所蔵もあり】
- 『育てる力』（宝島社・2018）783.7ク  
野球の監督である栗山英樹が、『論語と算盤』に書かれている教えを、選手の育成や組織作りにどのように役立てているのか記している。渋沢健氏との対談も収録。

## \$ インターネット関連

### ◆「渋沢栄一記念財団」

<https://www.shibusawa.or.jp/index.html>

資料館や研究センターの情報など、様々な資料や施設の紹介がある。一部であるが、こちらからデジタル版『渋沢栄一伝記資料』も見られる。

### ◆「埼玉ゆかりの偉人データベース」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0305/ijindatabase/index.html>

埼玉県のホームページ内にあり。埼玉に関わる偉人の簡単なプロフィールが分かる。50音順だけでなく分野別・地域別などでも検索が可能。

### ◆「渋沢栄一デジタルミュージアム」

[http://www.city.fukaya.saitama.jp/shibusawa\\_eiichi/index.html](http://www.city.fukaya.saitama.jp/shibusawa_eiichi/index.html)

深谷市ホームページ内にある特設サイト。栄一氏の紹介だけでなく、関連偉人や遺産がまとめられている。市発行のパンフレットなども読める。